

「みがき合い・支え合う，心豊かでたくましく生きる生徒」 ＜1月の学校経営方針＞

【改善のためのステップアップ】…A c tの第一歩！

現状を把握し，課題を明らかにしても，改善のための具体的な取り組みがなければ，成果は表れてこない。教育活動は「意図性」である。目指すものをはっきりさせ，具体的に取り組むことが，ステップアップにつながってくる。教育活動に結果オーライはない。たとえ上手くいかなかったとしても，それに向けて具体的に取り組むことにこそ意味がある。1位になることが目的ではない。1位を目指したプロセスそのものが，教育活動であり，意味を持つのである。そのプロセスが，生徒に課題解決能力を身に付けさせることができるのである。意図的に下の2項目に取り組む，解決できたという経験値を意識したい。

「白山ブランド」の構築のために

- (1) 授業改革（主体的・対話的で深い学び）
 - 明確な学習課題の設定，学習形態の工夫，振り返りの確保
 - ① 「！」ではなく「？」で投げかける問題解決を意識した学習課題を設定する。
 - ② 授業の最初からグループにし，個別やペア，全体で思考できる授業づくりを進める。
 - ③ 評価問題に取り組む，「何がわかったか？」「何ができたか？」を認知させる。
- (2) 心の教育（道徳，いじめ，生命，思いやり）
 - ④ 朝の会・帰りの会で班活動を組織する。（目標設定や振り返り）
 - ⑤ SGEやピアを活用し，人間関係づくりのスキル練習を計画的に実施する。
 - ⑥ 徳目を意識したテーマを設定による「議論する道徳」の授業を展開する。
- (3) 安全安心（健康・体力向上，メンタル，防災，食育等）
 - ⑦ 放課後活動への声掛けや活動開始の挨拶指導を組織的に対応する。
 - ⑧ 適応教室の運営を振り返り，保護者会を開催し改善を図る。
 - ⑨ 「いじめゼロ」を意識したフォローと積極的な生徒指導の推進を図る。
- (4) 生徒主体（行事，生徒会，部活）
 - ⑩ 学年の課題に対し，部会活動を中心に具体的に取り組む。
 - ⑪ 次年度に向けた生徒会活動の具体的な立案に着手する。
 - ⑫ 部活動の具体的な目標設定と達成度を意識した取り組みを推進する。
- (5) 三大伝統（挨拶，歌声，清掃）
 - ⑬ 「明るく元気な挨拶」→挨拶ができる学校を目指して全教職員・全生徒で取り組む。
 - ⑭ 「美しく響く歌声」→送る会・卒業式を意識した取り組みを計画的に進める。
 - ⑮ 「心を磨く清掃」→全校体制で黙道清掃のねらいに迫る活動を展開する。

「研究と課題」のために

- ⑯ 道徳の授業研究を通して，次年度以降の道徳の教科化に対する準備を進める。
- ⑰ 次年度の研究テーマや研究仮説を検討し，「白山ブランド」の構築につなげる。
- ⑱ 若手研のまとめと次年度の研修計画の立案に着手する。

「連携推進」のために

- ⑲ 小中一貫の日に向けて，グランドデザイン（案）を提示できるよう準備する。
- ⑳ 学校支援地域本部事業を見直し，校内ボランティアのニーズを掘り起こす。
- ㉑ 全国駅伝大会への協力に対するお礼と結果報告を地域発信する。
- ㉒ 「学校評価」等をHPや学校便り等で配信し，保護者や地域の方々への理解を得る。